東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO × DAIKIN

東京大学 グローバル・インターンシップ

GLOBAL INTERNSHIP

- 世界各国の社員とのディスカッションで**最新の世界の現状を知り、自分の力を試す**
- **東京オフィスでリアルに働くを経験**
- **チームでの提案立案や一泊二日※のワークショップ**で、自分の強みや課題を発見
- 世界160カ国に展開するｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ企業の**幹部に直提言、東大教授・ダイキン社員からのフィードバック**

<プログラム概要>

東京大学は、文系・理系を問わず学部・修士学生を対象に世界で活躍できるグローバル人材の育成をすすめています。その一環として、世界１６０ カ国に広がるダイキン工業参画企業の海外拠点を訪れてビジネスの最前線を体感できるインターンシップを2019年から実施しています。
今年はダイキン工業の東京オフィスで働く体験をし、アメリカ、欧州、中国、アジアをオンラインで、国内研究所をリアルで訪問します。それらの成果を、教授陣やダイキン役員に提言していただきます。

募集期間：６月７日（月）～６月２８日（月）
応募資格：東京大学在籍者　学年、学部・修士、文・理の別は問いません。
定　員　：25人
テーマ　：３～５人／１チームで、新たなビジネス提案を実施。
①グローバルビジネスにおける日本企業の成功の秘訣を探り、次の一手を提言
②気候変動・環境問題を背景とした制度・政策づくりと新たなビジネスモデルの提言
申し込み：UTAS上で申し込み

グローバルビジネスの“リアル”を体感する夏をあなたに。

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況をみながら可否を決定します。

問い合わせ先：東京大学グローバル・インターンシップ・プログラム（UGIP）担当　global-internship.adm@gs.mail.u-tokyo.ac.jp

募集からインターンシップ実施までのスケジュール

6/17　18:45～　インターン説明会
（申し込み～6/15）

6/28　参加申請書締め切り

7/5、6　面接選考@ZOOM

7/12ごろ　合格者決定

- 説明会への参加は任意です。
- UTASから申し込みください。説明会のZOOM URLをお送りします。

インターンシップスケジュール

※実施場所は変更になる可能性があります。

7/31　事前ワークショップ
@ダイキン工業東京支社（品川）
- インターンシップの概要説明、テーマ詳細の説明
- チームでのディスカッション

8/18　テクノロジー・イノベーションセンター見学会　@TIC（大阪）
- 研究開発拠点TICの見学
- 社員とのディスカッション

9/11-12　中間フィードバック会
@ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ研修所アレス青谷(鳥取)
- 中間発表
- 東大教職員、ダイキン社員からのフィードバック、アドバイス、ディスカッション

海外セッション・プレゼン指導
- 8/5-9/23までの期間に、アメリカ、欧州、中国、アジア(インド含む)、アフリカ等の各拠点のビジネスを統括している拠点幹部／現地の中堅・若手社員／日本人出向者とのセッションを実施(欧米とのセッションは、早朝や夜に実施される場合があります)
- 東大教職員／研究員による講義・プレゼン指導も実施

※開催場所：
　オンライン、東京大学、ダイキン（品川）
※各プログラムの日程：
　合格者に対して7月末に連絡

9/24　成果報告会　@東京大学本郷キャンパス
- 最終成果報告
- 東大教職員、ダイキン社員も参加

上記プログラムは参加必須です。
それ以外の時間は、各チームで活動時間・内容を設定いただきます。
ダイキンのオフィス（品川）を社員とのミーティングや海外とのオンライン会議を始め、チームでの活動の場として使用いただけます。フリーアドレスのオフィスで、社会人に交じって一緒に"働く"を経験していただけます。
※土日祝日お盆休み(8月9日～13日)は閉館しております。

テーマ①　グローバルビジネスにおける日本企業の成功の秘訣を探り、次の一手を提言

背景

　ダイキン工業は、空調機・エアコン業界の世界市場シェアNo1を誇る日系空調メーカー。160カ国に事業展開し、海外売上比率は7割以上、全従業員の8割以上が海外で働いています。これまでアメリカのグッドマン社やマレーシアのエアコン大手OYL社を買収する等、積極的に世界で事業を展開してきました。

　グローバルで勝ち続けてきたダイキン工業の強みとして、先見性ある経営判断、地域に合わせた半歩先を行くビジネスモデル、環境問題(SDGs)への取り組み、人を基軸におく経営、ダイバーシティマネジメント等が挙げられますが、このインターンシップでは、東大の学生ならではの観点で競争力の源泉を探っていただきたく、プログラムを用意しています。

　“世界一周セッション”と称して、アメリカ、欧州、中国、アジア(インド含む)、アフリカのビジネスを統括している拠点幹部／現地の中堅・若手社員／日本人出向者とのディスカッションやリサーチを通し、各国の特徴、現在挑戦している取り組み、直面している課題を探っていただきます。リアルなグローバルビジネスを経験し、グローバル規模で考えるべき社会課題や新しいビジネス等について考え、その上で仮説を立案、これからの発展に向けて取り組むべきことをまとめ、提言いただきます。

インターンシップ概要

期待する学生	グローバルビジネスに興味のある方、 将来を考える上でグローバルビジネスを体験してみたい方
目　標	**激変するビジネス環境の中で働く海外拠点の社員とのディスカッションやリサーチを行い、グローバル規模で考えるべき社会課題や新しいビジネスについて考え、ダイキンの今後のビジネス展開に対して提言する**
期待する アウトプット	• ダイキン工業がグローバルで益々発展するための提言 • 各拠点で直面している課題解決
海外拠点の ビジネステーマ ※今後変更の可能性あり	• アメリカ：北米No1に向けた戦略 • 欧州：環境問題への取り組み、多国籍メンバーが働くダイバーシティな職場 • 中国：データ活用による業界変革、コロナ禍での新たな販売戦略 • アジア・アフリカ：インドネシアでの販売店網開発、インドでの成功の秘訣、新興国地域での新たなチャレンジ（タンザニアなど）

Global Expert／Authorityとのセッション

時差を乗り越えながらのＷＥＢセッションを予定しています。

グローバル4地域とそれぞれオンラインセッションを実施。

<u>オンラインセッション１回目：8月初旬～下旬　（2時間程度）</u>

各海外拠点の若手／中堅社員と交流いただき、拠点の特徴や課題の紹介、質疑応答を実施。

<u>オンラインセッション2回目：8月下旬～9月中旬　（1～2時間程度）</u>

拠点幹部（拠点長、現地幹部等）との対話セッションを通して、経営の極意やグローバルでの挑戦への覚悟を学ぶ。

※事前に質問項目やディスカッション項目を作成いただきます。

※使用言語：英語・日本語

テーマ②　気候変動・環境問題を背景とした制度・政策づくりと新たなビジネスモデルの提言

～北米での空調分野におけるCO2削減の作戦立案～

背景

パリ協定の2050年1.5℃目標や、ネットゼロの実現に向けて世界中で様々な活動が加速。UNFCC（気候変動枠組条約）事務局をはじめとした諸団体が、2050年ネットゼロを実現するための2025年、30年、40年のCO2排出量を各セクターごとに提示し、各国政府に政策誘導を迫っています ※ 。

そのなかで**冷房によるCO2排出量は全世界で約11億t、2050年までに冷房消費エネルギーは3倍**になるとの試算がされており、冷房消費エネルギー需要を抑制するための政策が必要とされています※※。

ダイキンは、これまで新冷媒、インバータ、ヒートポンプ暖房・給湯機など、省エネに貢献する技術や商品を開発し、世界に展開してきました。しかし、CO2ネットゼロ化は、省エネの推進に加え、電力インフラの脱炭素化と同時に推進していく必要があり、ダイキン単独では進められません。世界各地域ごとに住居・生活スタイル、社会習慣、エネルギーインフラ・経済事情に応じた適切な機器やビジネスモデルを提案していくと同時に、**各国政府や地方自治体、大学や国際機関、エネルギー業界、NGOなどと仲間作りを進めながら、制度・政策を含めた環境整備に知恵を絞っていく必要があります。**

本テーマでは、その環境政策が大きな変革期にある北米を対象に、連邦・地方政府、大学、エネルギー業界に提案できる制度・政策・取組みを立案し、新たなビジネスモデルを検討・提言いただきます。

※The International Energy Agency (IEA)「Net Zero by 2050」
※※The International Energy Agency (IEA) 「The Future of Cooling」

インターンシップ概要

期待する学生（いずれかに当てはまる方）	環境問題に興味のある方、 政治・法規制・ロビー活動に興味のある方、技術系の方
目　標	**中国に次ぐ世界最大規模の市場であり、バイデン政権による環境政策の推進が期待される北米を対象に、空調機からのCO2排出量を削減するための道筋と実現に向けたあらゆる作戦を徹底的に考え抜き提案する**
期待するアウトプット	• 北米で高効率の空調機を普及させてネットゼロを実現していくための道筋 • その実現に向けた作戦（多様なステークホルダーへの提案と合意形成など）
検討過程でまとめてほしいこと(選択制)	・主要プレイヤーの動き（連邦・州・地方政府、電力、NGO） ・米国系企業（個社、業界団体:AHRI）の取組みとロビー活動 ・各地域ごとの電力事情（電力インフラの増設・再生エネルギー化・ピーク対策計画など） ・UNFCC（気候変動枠組条約）を起点としたネットゼロに向けた国際機関などの動き
参考資料	当社の環境政策立案への協力事例 https://www.daikin.co.jp/csr/engagement/goverments.html グローバル競争におけるルール形成戦略 https://www.jab.or.jp/files/items/6654/File/panel3_Deloitte_hanyuuda_sama.pdf https://toyokeizai.net/sp/171220jab/ ルール形成の普及に向けた評価指標とその活用方法の開発に関する調査　39-57ページ https://www.meti.go.jp/press/2021/04/20210421007/20210421007-2.pdf 社会インフラの海外進出におけるルール形成戦略のあり方 https://www.meti.go.jp/committee/kenkyukai/energy_environment/global_energy/pdf/001_04_00.pdf

Global Expert／Authorityとのセッション

時差を乗り越えながらのＷＥＢセッションを予定しています。

8月初旬～9月中旬にかけて、以下オンラインセッションを実施予定
・世界３極担当者とのセッション（欧州、北米、日本）
・空調、エネルギー分野のAuthority へのインタビュー（北米）
・北米現地社員とのディスカッション　等々

※使用言語：英語・日本語

DAIKIN